



【リアル×メタバースで開催】 いのちを大切にする経済社会と街づくりを 世界の起業家・慈善家と語る

大阪大学 第6回 SSI シンポジウム『生きることと働くこと』

3/28 (木) 14:00~@大阪大学 中之島センター & メタバース会場

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（以下、SSI）は、世界的な起業家や慈善家をメンバーに有する NGO「Global Sustainability Network（以下、GSN）」と共同で、SDGs の達成に向けた経済や社会、まちづくりのあるべき姿を探るシンポジウムを 2024 年 3 月 28 日(木)に開催します。今回のシンポジウムは、大阪大学中之島センターでの対面会場と、メタバース空間でのオンライン会場の 2 箇所においてハイブリッド開催いたします。



当日開設されるメタバース会場は、大阪市港区の構造をベースにしたワールドとして上空に出現します。

● 第一部・第二部の各概要

今回のシンポジウムは二部制となり、第一部はトークセッション、第二部はメタバース会場でのポスターセッションで構成されます。

【第一部 トークセッション】

2015 年、国連サミットにおいて持続可能な開発目標（SDGs）が記載された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が加盟国の全会一致で採択され、人間のみならず、他の生命体、および地球自体の「いのち」を危険にさらすさまざまな課題に立ち向かうことが約束されました。そして今、産官学民が一体となって SDGs の達成を推進してだけでなく、その達成目標年である 2030 年以降、どのような社会を実現したいのかを、SDGs がうたう「誰一人取り残さない」の精神に立って「みんな」で考え、話し合い、行動に移していかなくてはなりません。

今回は Goal 8（働きがいも経済成長も）を中心に活動する GSN とともに、「生きること」と「働くこと」の関係をとらえ直すことを目的とします。また、Goal 11（まちづくり）と Goal 17（パートナーシップ）の視点を取り入れることで、あるべき経済、社会とそれを成立させる都市・地域の形を探ります。

Press Release

【第二部 ポスターセッション】

ポスター発表では、大阪大学の留学生（海洋・都市基盤工学 グローバルリーダー育成特別プログラム生※）たちが万博会場の周辺地域のまちづくりのために取り組んだ調査と提案を発表します。

メタバース会場では、対面会場に来場できない人でも画面越しの受け身ではなく、実際に会場にいるような感覚を体験することができます。登壇者も参加者もアバターによって講演と質疑応答を行うことができるため、より気軽に活発な意見交換が期待できます。メタバース会場に参加するためにはアプリケーション「Cluster」を利用する必要がありますが、アプリケーションがなくとも気軽にご参加いただける手法として、YouTube Liveでの配信も予定しています。

大阪・関西万博を望む大阪市港区の上空に設定されるメタバース会場では、14:00 からシンポジウム、17:00 からポスター発表をご覧ください。

- イベント概要 ※詳細は2ページ目以降をご覧ください

第6回 SSI シンポジウム

『生きることと働くこと — いのちを大切にす経済社会とそれを支えるまちづくり』

【日 時】 2024年3月28日（木）14:00～18:30

【場 所】 対面会場とオンライン会場のハイブリッド開催

▶【対面会場】大阪大学中之島センター 7階 共創フロア セミナー室
大阪市北区中之島4丁目3番53号

▶【オンライン会場】メタバースとYouTube Live（URLは参加登録者に別途ご案内）

【定 員】 250名（対面100名+オンライン150名）

【参加申込】 日 <https://forms.gle/tZU2RZ1UHeerX1bL8> 英 <https://forms.gle/topkz6XG5hHDwJWK6>

【パネリスト】 3ページ目を参照

【共同主催】大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）
Global Sustainability Network（GSN）

【共 催】いのち会議

【後 援】伊勢志摩観光コンベンション機構

大阪大学先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にす未来社会研究部門（New-POD）

- イベント詳細

<プログラム>

14:00	開会あいさつ	堂目卓生教授 SSI 長
14:10	GSN のご紹介	Raza Jafar 氏 GSN 代表
14:20	第一部 トークセッション (逐次通訳あり)	モデレーター ● 松本文子特任准教授 パネリスト ● Scott Cunningham 氏 GSN メンバー、SDGuild 設立者 ● Irene Gampel 氏 GSN メンバー、Embrace Foundation 設立者 ● 山岡万里子氏、ノット・フォー・セール・ジャパン (NFSJ) 代表。出版翻訳者。 ● 木多道宏教授 副 SSI 長/New-POD 副部門長
15:40	休憩	
15:50	参加者との意見交換 (逐次通訳あり)	
16:50	移動（第一部終了 対面の参加者は5Fの「いのち共感ひろば」へ移動）	
17:00	第二部	ポスター発表グループ

Press Release

	ポスターセッション	大阪市港区の地区別にまちづくりの調査結果と提案を発表 計4グループを予定
18:30	閉会あいさつ	

<パネリスト>

堂目卓生

大阪大学総長補佐／SSI 長／大学院経済学研究科教授。

『アダム・スミス-「道徳感情論」と「国富論」の世界』（中央公論新社／2008年）でサントリー学芸賞を受賞。2019年、紫綬褒章。



Raza Jafar

GSN 代表。

銀行業や航空業を手がけ、現在は不動産開発とホスピタリティ・マネジメントに携わる起業家。ドバイのパラッツォ・ヴェルサーチを設立し、会長を務め、ワールド・ラグジュアリー・ホテル・アワード 2016 など数々の賞を受賞。



Scott Cunningham

教育やテクノロジー分野の起業家。SDGuild 設立者。

多くの慈善活動を支援し、カイラシュ・サティヤルティ、レイマ・ゴボウイなど多数のノーベル平和賞受賞者とともに積極的に活動している。



Irene Gampel

ウクライナのキエフに生まれ、11歳でイスラエルに移住。その後アメリカに渡り、サンディエゴ州立大学で経営学の学士号を取得。銀行と不動産マネジメントの分野で成功した後、弱い立場にある女性や子供のニーズに焦点を当てたエンブレイス基金を設立した。



山岡 万里子

ノット・フォー・セール・ジャパン (NFSJ) 代表／出版翻訳者。

現代奴隷問題の啓発のため、2011年に NFSJ を設立。「人身売買禁止ネットワーク (JNATIP)」運営委員、「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク (SSRC)」共同代表幹事として、政府・企業・消費者に働きかけている。



Press Release

木多 道宏

大阪大学 大学院工学研究科 教授/副 SSI 長/先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にする未来社会研究部門。

国内外の集落・都市における「地域文脈」を継承した建築・都市デザイン、アフリカ非正規市街地の改善などの実践と研究を行なっている。



<モデレーター>

松本 文子

大阪大学 大学院工学研究科 特任准教授/国立民族学博物館 機関研究員。博士（地球環境学）。

アートプロジェクトなど芸術を活用した地域振興の効果や創造性・寛容性の測定を研究し、社会連携やアートワークショップで実践活動を行っている。



- 取材申込フォームについて

※ご取材本イベントについて、ご取材いただける際は、
会場設営の関係上、3月27日（水）正午までに
以下の Web 登録フォームから申請をお願いします。

<https://forms.office.com/r/qqeAUbq4i8>



<用語解説>

海洋・都市基盤工学 グローバルリーダー育成特別プログラム：

自然災害に対する海洋・都市圏の防災と安全対策、海洋空間における輸送・安全と資源・エネルギー利用、都市・地域環境の改善や保全に資する専門性を追求するとともに、多様な専門分野の専門家や市民社会と国内外の「共創フィールド」（本専攻が有する研究の場）を共有し、都市災害をはじめとする、個別の分野では対応できない地球規模課題を解決する外国人留学生および日本人学生を育成する、大阪大学大学院工学研究科によるプログラムである。

- 特筆事項

会場の収容人数が約 100 人までとなっておりますので、参加人数や取材希望が多くございました場合は、個別にご相談をさせていただきますことをご了承ください。